



NO. 766
 発行
 12・10月15日
 国鉄労働組合
 新潟地方本部
 発行責任者
 関川 和彦
 編集責任者
 教 宣 部



国労東日本本部大会 全体の意見②

●職場の状況、職場が統廃合された。要員が不足し超勤が発生している。仕事が出来ない・社員は差別されている。点検摘発行動の展開で労基署へ申告など改善してきた。現場で当たり前の労働運動を進めることで、組織拡大につながっている。

労働協約の内容は、就業規則と同様なので締結には反対だ。

反原発の闘い、放射能による学習会を開催した。測定と除染について会社側に申し入れた。国労として原発反対運動の先頭に立ち取り組むべきだ。(東京地本)



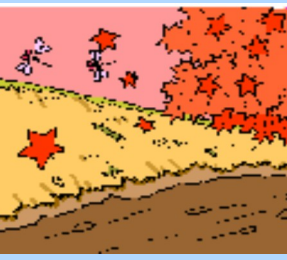
●労働協約、協約の必要性について認識されてきた。締結によって何も出来ないという反対意見を出すのではなく、その後の運動を展開し進めていく。

職場では経験不足で事故が多発している。設備についても緊急点検が多くなった。新人研修に問題がある。技術継承するには研修を見直すべきだ。

原発の再稼働を議会で決議、自民党議員1人以外は反対だ。(仙台地本)

退職者激励会の開催

11月23日



●組織拡大、2名拡大した。新採用への取り組みを展開、1名以上の拡大を目標にしているが現場に配慮されない。拡大は、もっとスピードを上げて取り組まなければならない。

支部機関では専従役員が無くなり、書記が退職し役員が対応しているが組合事務所に灯りがつかない日もある。支部機関が機能できていない状態だ。書記配置などを考えて欲しい。本大会が組織拡大の総決起にしたい、そうあるべき大会にしていく。(東京地本)

●福島原発事故、放射能汚染について健康診断など希望者への検査を実施。業務では線量計を携帯している。会社は、除染・線量測定は国のルールで実施すると言っている。社宅の無料化が延長される。さらに強化していく。



組織拡大、重点職場を設定し行動を展開・組合説明会を実施している。

エルダー社員の職場実態について会議を開催、意見交換を行った。それには出向先の職場の提示が遅い・賃金に格差・手当が無い・年

間休日数が少ない・提示された職場が少ない・本人の希望がかなうようにしていくこと。出向先の労働条件改善はプロパー社員への改善にもなる。エルダー制度を改善し働き続けられる環境をつくる。

アスベスト対策、現場が地震によって空調のダクトが破損し、そこにアスベストが使用されていたのが判明した。健康管理についてエルダー社員は年2回のアスベスト検診ができない。受診できるよう健康管理手帳の取得強化を求めていく。

労働協約、職場で議論したが意見が出ない。昇職試験に合格していない。協約に一括和解の内容を盛り込むこと。(水戸地本)

●組織拡大、委託会社への組織拡大、プロパー社員が正式に国労加入したが認められない。関連会社への国労加入実現を。GSの雇い止め、正社員化の具体的な取り組みをしていく。同じ業務なのに労働条件は劣悪だ。

労働協約、一括和解以降、職場での差別が減少したが、差別はなくならない。一括和解を反映させ、拡大に繋げて行く。(東京地本)



●裏面へ続きます。



●設備メンテ合理化が実施されてから10年経過した。外注化が原因で要員が減・レールの状況など厳しい。JR・直営に戻すよう要求。出向について外注先の会社へは希望できない。職場の労働環境の改善を訴えてきたが状況は変わらない。技術継承にも問題がある。

●検修全面外注化の闘いについて他労組はストライキで闘っている。



国労としてストライキで闘う体制をつくること。鉄道整備会社との交渉の実施を実現させる。

●労働協約の職場は公正・公平でない。協約改定を取り組む。就業規則以上の協約にすること。(千葉地本)

●被災線区へ復旧は進んでいないが8月からバスでの暫定運行が実施。線路復興も最優先だ。石油輸送ではIGR・新青森鉄道が評価されている。現在は新幹線のみ全線開通されている。在来線の重要性を訴えている。

●組織拡大へ社会人採用が国労加入した。いったん他労組に加入すると、いろいろ、しがらみができてその後拡大は難しい。東労組との接点を作っていくことが重要だ。拡大経験交流集会を開催、国労加入に対して自分たちでカベを作らず一歩前に行動を進めて行く。

●労働協約は労働組合にとって労働条件の維持、改善だ。労使双方の信頼関係が健全な労使関係へ。(盛岡地本)

●分会組織が減少している現状だ。一人でも頑張れる職場もある。日常の付き合いコミュニケーションを深め話し合う。運動の原点に戻る。その時、問題点について話し合い現場へ申し入れる。

●会社は新人事賃金制度導入によって社員間の競争がある。実態を共有して信頼関係をつくっていくこと。拡大経験交流集会を開催、職場の



労働条件改善の闘いが拡大へ繋がっている。GSの正社員化の取り組みを強化していく。業務は同一だが労働条件は劣悪だ。プロパー社員が採

●用されているが、GS以下の労働条件だ。GSの雇い止めについて雇用契約の改善や労働条件の改善を取り組んでいく。(東京地本)



●組織拡大へ8月10日に国労加入。職場の問題点を改善するため分会活動を強化・取り組んだ。全機関での積極的な取り組みが拡大につながった。貨物会社では拡大一歩手前までいっている状況だ。

●活動を取り組むことによって弱点が見えてくる。組合説明会の実施・他労組の接触などによって前進が出てきている。拡大経験交流集会を1泊で開催した。国労加入者が参加しているいろいろな意見が出された。

●検修外注化の実施後、安全な車両が提供できるのか・若い社員は子会社へ出向するためにJR東日本へ就職したわけではない・出向に出されたら退職を考えたい・検修外注化の実施について遅らせることができるのかなど意見が出されている。

●労働協約の労働協約改定を実現していく。就業規則と同じでも、それがスタートラインだ、組織拡大に労働協約は必要だ。(東京地本)

●以上、全体の代議員の発言内容でした。詳しくは東日本本部の機関紙を参照してください。

編集後記

●今回は3号にわたり国労東日本本部定期大会の特集を記載しました。内容が不十分などがあると思います。エリア本部の機関紙など参照してください。

●少しでも大会の雰囲気を感じられればと編集しました。よろしくお願います。



国 労 新 潟 地 本

ゴルフ大会!

秋です!キミもみんなと楽しくゴルフをしよう!!

11月9日(金曜日)

新津カントリークラブで開催!

・参加費	: 1000円
・集合時間	: 7時30分 8時スタート
・表彰式	: 18時より 会費 4000円
・場 所	: 新潟駅南 桜蘭 ~Rouran~

新潟駅南口 トラカ2 正面

お問い合わせ 各職協幹事 運輸 阿部範夫 営業 阿部光晴
 工務 安川 寛
 新潟地本 0250-24-8336
 大会事務局(加藤・玉木)